三重県
Mie Prefectural Government

資料２



【桑員地域】
具体的対応方針について

三重県医療政策課

桑員区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度）・病床機能の現状

- 令和７年度の病床機能報告や令和８年度のアンケートをもとに、変更した点を中心に、今回あらためて地域の課題もふまえ、具体的対応方針を確認・協議いただく。

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和8(2026)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和9(2027)年に向けた病床数						
桑名市総合医療センター	桑員構想区域の高度急性期・急性期医療や救急医療の中心的な役割を担うとともに、周産期医療の県最北端の拠点としての役割を担う。また、新興感染症の流行時等には、県及び市からの要請に基づいた患者の受け入れや治療の実施等、必要な医療の提供に努める。	132 132	268 268					400 400
いなべ総合病院	いなべ市唯一の総合病院として、いなべ地域の急性期医療について、中心的役割を担うとともに、回復期機能についても対応する。また、行政、医療機関、訪問看護が一体となった地域包括システムの構築を目指す。		166 166	54 54				220 220
日下病院	現状の急性期機能及び慢性期機能を維持し、介護施設入所者の急変対応等の役割を担う。 また、将来的には、同グループ内の東新クリニック19床（休床中）について、日下病院に統合する対応を検討している。			106		48		154 154
青木記念病院	桑員区域の救急医療の一翼を担うとともに、回復期機能の充実を図る。		47	59				106 106
ヨナハ丘の上病院	桑名市総合医療センターはじめ急性期病院と連携し、亜急性期（地ケア）・回復期機能を軸とした後方支援病院としての役割を担う。		25 25	103 103	57			185 185
もりえい病院	二次救急輪番病院として急性期機能を維持するとともに、桑員区域における唯一の緩和ケア病棟を持つ病院として、その機能の充実を図る。		38 38	20				58 58
長島中央病院	在宅医療、介護の拠点として、在宅患者の後方支援や終末期医療、急性期・回復期からの転院先としての機能を担う。					160 154		160 154
桑名病院	慢性期医療及び在宅医療の推進を図るとともに、終末期医療を担う。					50 50		50 50
山崎病院	地域医療、人工透析医療を行い、通院透析が困難となった患者の長期入院機能を担う。					48 48		48 48

桑員区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度）・病床機能の現状

医療機関名	担うべき医療機関としての役割	医療機能ごとの病床数						
		高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
		上段：令和8(2026)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】 下段：令和9(2027)年に向けた病床数						
ウエルネス医療クリニック							8	8
							8	8
中部眼科	緊急時に対応する機能			10				10
				10				10
田渕眼科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			2				2
				2				2
東新クリニック							19	19
							19	19
宮口内科循環器科	病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能、終末期医療を担う機能					18		18
						14		14
青木内科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能。					17		17
						1		1
坂井橋クリニック							19	19
							19	19
小塚産婦人科	専門医療を担って病院の役割を補完する機能			12				12
				12				12
大安クリニック	病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能、専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能、在宅医療の拠点としての機能。					19		19
						19		19

ウエルネス医療クリニック　総合診療科医師が非常勤のため休止。再開時期未定。

東新クリニック　医師と職員が不足しているため休止。再開時期未定。様々なニーズを考慮し再開を検討している。

坂井橋クリニック　医療従事者確保困難のため休止。再開時期未定。

桑員区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度） ・病床機能の現状

桑員地域	医療機能ごとの病床数						
	高度急性期	急性期	地域急性期	回復期	慢性期	休棟・無回答等	計
令和8(2026)年7月1日時点の病床数【定量的基準後】 A	132	544	366	57	360	46	1505
令和9年(2027)年に向けた病床数【定量的基準後】 B	132	544	366	57	334	46	1479
			423				
将来(2035年)の病床数の必要量 C	119	536		604	417		1676
B−C	13	8	−181		−83		−197